

IMPカートチャレンジ第4戦

YAMAHA-SSクラス (参加5台)

井頭モーターパーク

フレーム : birel R31

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BRIDGESTONE SL07

エンジニア: 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 濱田 泰志 (チーム エッフェガーラ)

◆今大会にむけての目標、意気込み

フツーに走って勝ってくる。ただそれだけです。

◆レース結果

- ・TT 1位 (31.187秒)
- ・予選(15周) 1位
- ・決勝(20周) 4位

◆シリーズランキング

- 1位 (70ポイント)
- 第4戦終了時点

◆レースレポート

TT…路面は前日夜に降った雨のせいで所々湿っている場所があったが、ほぼドライコンディション。標準セットでコースイン。5周もすると他車のタイムも頭打ちしてきたところでベストタイムをマーク。回り込むコーナーではややタイヤがくわれ気味であったが、旋回Rを大きく取ることと丁寧なアクセルワークでスムーズに抜けることが出来てポールポジションを獲得。予定通りです。

予選…ローリングスタートは2番手の選手のタイミングが合わず2回やり直し。3度目のスタートは無事成功。3番手の山田選手が2位に浮上した為、後方でポジション争いをしているうちに逃げようと思ったがあまりタイムが伸びず突き放すことが出来ない。それでも約1秒のマージンを保って予選1位通過。順調です。

決勝…午後になり気温が上がり、むし暑いなか決勝スタート。序盤トップで周回をこなすが、背後には新山選手がぴったりとマーク。6周目の1コーナーで新山選手にかわされ2位。1周に渡り、背後で様子を伺い、次の週の4コーナーで勝負をかけようとし手前の3コーナーで間合いをはかってブレーキング…のつもりが思いのほか追突しそうになり、ラインを半分ほどアウト側にとってしまう。何やってるんだあ〜と思いながらもフラフラとオーバーランしてコースアウト。グリーン上にストップ。5番手金子選手はスタートで出遅れていた為、自分は押しがけ再スタート4位で復帰。残りの周回をふてくされながら走り、そのままの順位で終了。

◆レースを終えて

前車との間合いの取り方も回避の仕方にも雑で初歩的なミスをしてしまいました。マシンやテクニックが劣っているのではありません。まだまだ修行が足りないです。気を取り直して後半戦に挑みます。